

2008年7月24日

市川市長 千葉光行様

日本共産党市川市議団
県議会議員 岡田幸子

原油、原材料、食料品高騰による緊急対策の申し入れ

原油と穀物、物価高騰が市民生活に深刻な打撃をあたえている。今日の事態は、株価とドルの下落で行き場を失った投機マネーが、原油や穀物市場に流れ込み、その価格をつり上げているといわれている。

「鉄骨の値段が2倍になった。仕事がない」と嘆く建設業者。「ボイラーの燃料代が上がり、利益がでない。このままでは廃業」(クリーニング店)。市民も買い物控えるなど、商店街も売り上げ減少に苦しんでいる。業者、市民の「自助努力もすでに限界」という悲痛な声もある。

この根本的な解決のためには、投機マネーの規制が焦眉の課題であり、原油や穀物など、人間の生存の土台への投機はただちに規制すべきである。このことを政府に求めると同時に、当面、市として市民生活防衛の緊急対策が必要と考える。よって、以下の対策を講じるよう要請する。

記

- 1、原油・物価高騰など様々な相談に対応する、相談窓口を設置すること。
- 1、公共工事で、建設資材高騰をふまえた請負代金の上乗せをすること。
- 1、工事・物品発注で積算単価に物価上昇に対応させること。
- 1、中小業者などに無担保、低利子の緊急融資を実施すること。
- 1、学校給食の保護者負担を引き上げないこと。

以上